

平成27年度安芸地域アクションプランの追加、拡充、削除項目等について

地域アクションプランの追加・削除項目について

地域アクションプランの動向

H26年度 250 → H27年度 253 (+3)

地 域	H26年度	H27年度		
	AP数 H26.12時点	追 加	削 除	AP数
安 芸	34	1	▲1	34
物部川	25	0	0	25
高知市	32	1	0	33
嶺 北	28	0	0	28
仁淀川	37	1	0	38
高 幡	47	1	0	48
幡 多	47	1	▲1	47
合 計	250	5	▲2	253

安芸地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加

No.	アクションプラン名	事業概要
1	旧椎名小学校を活用した地域振興 （室戸市） 【実施主体】室戸市、NPO法人日本ウミガメ協議会、地域住民団体（椎名常会）、椎名大数組合	旧椎名小学校を海をテーマにした観光施設（深海生物、ウミガメ等を展示するミニ水族館、標本などの模型の展示、魚さばき体験スペースの設置等）に改修し、併せて集落活動センターを設置することにより、住民主体の活動を促進し、地域の課題解決や交流人口の拡大を図る。

■削除

No.	アクションプラン名	削除する理由
1	No.5 エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大（芸西村） 【実施主体】第2香南くろしお園	事業者の事業廃止のため削除する。

■その他(拡充)

No.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No.6 白下糖の生産の拡大と観光への活用（芸西村） 【実施主体】芸西村、芸西村製糖組合、生産者グループ	【拡充】サトウキビ作付け面積の拡大の取組に「サトウキビ買取りの検討」を追加する。また、白下糖の品質向上に関する取組の内容を修正する。
2	No.7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 （室戸市、東洋町） 【実施主体】室戸市木炭振興会、土佐備長炭生産組合	【拡充】平成27年度に室戸市の製炭者を一元化する（仮称）室戸市木炭生産組合の設立に取組むとともに、新規製炭者の育成と量産体制の強化を行う共同利用施設として「炭窯・保管庫等」を明記する。また、「原木配給ストックヤードの設置」の取組期間をこれまでの実績に合わせて修正する。
3	No.14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進 （奈半利町） 【実施主体】奈半利町、奈半利なんでも市加工グループ、いちじく加工品グループ、加領郷漁協女性部、JA土佐あき	【拡充】これまでの実績にあわせ、加工施設の整備に関する取組に「JA加工施設の設計・建設」を追加するとともに、農産・水産加工施設の整備に係る取組期間の見直しを行う。また、商品づくりの取組に「基本構想の策定」を追加する。

No.	アクションプラン名	見直しする内容
4	No.15 田野町の地域資源を活用した新商品の開発と販路の拡大 (田野町) 【実施主体】 四国部品㈱中芸事業所、民間企業	【拡充】 田野町の事業者等が周辺地域の資源を活用する取組とするため、プラン名を「地域資源を活用した新商品の開発と販路拡大」に変更するとともに、事業主体に「(有)松崎冷菓工業」を明記する。また、販売ルート開拓の取組に「人材育成・強化」を追加する。
5	No.16 完全天日塩の生産の拡大と観光への活用 (田野町) 【実施主体】 田野町、民間事業者	【拡充】 新規就業者の独立に向けた環境整備に関する取組の内容を修正する。また、指標及び目標値へ製塩体験施設の見学者及び製塩体験者の受入人数を追加する。
6	No.23 イルカのふれあい体験による交流人口の拡大 (室戸市) 【実施主体】 NPO法人室戸ドルフィンプロジェクト、室戸市	【拡充】 プラン名を『「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大』に変更する。また、「海の駅とろむ」にある室戸岬漁港(新港)を活用した、「ダイビング事業展開に向けた体制整備等」の取組を追加する。
7	No.26 藤村製糸を活用した観光振興 (奈半利町) 【実施主体】 藤村製糸、奈半利町、なはり浦の会、奈半利町、なはり観光文化協会	【拡充】 平成26年度に藤村製糸記念館を整備したことによる取組期間の修正を行う。また、「展示物等の充実」と「案内看板の設置及びパンフレットの作成」の取組を追加する。
8	No.30 世界に2つの「モネの庭」の誘客強化による交流人口の拡大(北川村) 【実施主体】 北川村、きたがわジャルダン	【拡充】 広告宣伝・営業活動の取組に平成27年度からの「東部博中芸地区パビリオンとしての活動」を追加する。また、経営改善の取組に「職員を対象とした接客マナー研修の実施」を追加する。

【修正】（※参考）

No.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No.4 「安田(あんだ)の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発（安田町） 【実施主体】安田町、生産者	【修正】主な内容の「商品企画・開発」を平成25年度まで取組む計画期間を実態合わせて平成28年度以降までへ延長する修正を行う。
2	No.13 安芸市の地域食材を活用した商品づくりの推進（安芸市） 【実施主体】安芸市、生産団体・グループ、民間事業者・加工業者 ほか	【修正】飲食施設である廓中ふるさと館の施設改修が平成26年度末に完了するため、取組の実績に合わせ、「主な内容」の記載と「飲食設備の整備」の期間を修正する。
3	No.19 道の駅「田野駅屋」の機能強化（特産品開発及び情報発信）と施設整備等（田野町） 【実施主体】田野町、道の駅指定管理者、加工施設指定管理者、生産者組織	【修正】機能強化のための施設整備等の取組について基本構想づくりを行ってから施設整備等を検討するため、協議及び基本構想づくり、施設整備等の期間を修正する。
4	No.20 地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化（芸西村） 【実施主体】芸西村、旬かっぱ市、生産者グループ	【修正】地域資源を活用した地域経済の活性化として「芸西村特産品加工施設（仮称）の検討」をする取組を延長するとともに、今後の見通しに合わせて「施設整備着手」、「商品開発・販売」の取組を削除する。
5	No.22 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興（室戸市） 【実施主体】室戸市、室戸ジオパーク推進協議会、室戸市観光協会	【修正】世界ジオパークに係る「商品開発」や「拠点施設の整備」、「サイト整備」の取組期間を実態に合わせて見直す。また、サイト整備のうちの「ビジターセンター・インフォメーションセンター機能強化」は、両センターの機能を新たに整備された拠点施設が引き継ぐため、具体的な取組から削除する。
6	No.24 岩崎弥太郎生家を核とした観光振興（安芸市） 【実施主体】安芸市、安芸市観光協会、「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会 ほか	【修正】岩崎弥太郎生家等の観光資源の磨き上げは、東部博覧会にあわせた銅像移転等の観光資源の磨き上げが行われるため、実績に合わせた計画期間の修正を行う。また、「安芸観光情報センターの機能強化」の取組項目の期間を実績に合わせて変更するとともに、「観光ビジョンの策定」の取組を削除する。
7	No.29 体験型観光と地域の加工品づくりの推進～大野台地は、えいところ！～	【修正】加工品の開発・販売と地域食材の提供の検討の各取組期間をこれまでの

No.	アクションプラン名	見直しする内容
	(田野町) 【大野倶楽部、田野町】	実績や現況に合わせて見直す。
8	No.32 安田町中山の活性化プロジェクト (安田町) 【事業主体】安田町、中山を元気にする会ほか	【修正】「中山元気プランの策定」と「新たな観光資源の発掘」の取組内容の字句を修正するとともに「中山自然薯のブランド化」の取組期間を延長する修正を行う。
9	No.33 北川村温泉を核とした中山間振興 (北川村) 【実施主体】北川村、北川村中部地区集落活動協議会、北川村観光協会	【修正】温泉施設の整備予定時期(平成27年9月以降)を実態に合わせて修正するとともに、「地域活動、集落活動の進展」の取組内容を地元産品の「直販コーナーの試行」と「直販コーナーの運営」へと見直しを行う。
10	No.34 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト (馬路村) 【事業主体】馬路村、魚梁瀬地区住民	【修正】魚梁瀬ふるさと応援隊の採用や、高知家まるごと東部博の開催を踏まえて、主な取組の内容の「丸山公園の観光素材としての磨き上げ」の事業内容や期間を現況に合わせて見直す。

平成27年度 安芸地域アクションプラン(案) 項目対比表

No.	現在(平成26年度)	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村
		9	8	7	7	9	8	7	6	6
1	ナス産地におけるまとまりづくりとブランド化の推進	●	●	●	●	●	●	●		●
2	ユズを中心とした中山間振興	●	●				●	●	●	
3	ポンカンを活用した新商品の開発と販路の拡大			●						
4	「安田(あんだ)の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発						●			
5	エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大									●
6	白下糖の生産の拡大と観光への活用									●
7	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化	●		●						
8	木質バイオマス活用の促進		●							●
9	林業加工品の販売の促進								●	
10	芸東地域の水産物の付加価値の向上と販路の拡大	●		●	●	●	●			
11	加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上		●							
12	海洋深層水の利用拡大	●								
13	安芸市の地域食材を活用した商品づくりの推進		●							
14	地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進				●					
15	田野町の地域資源を活用した新商品の開発と販路の拡大					●				
16	完全天日塩の生産の拡大と観光への活用					●				
17	キラメッセ室戸「楽市」の機能強化	●								
18	海の駅を拠点とした地域振興			●						
19	道の駅「田野駅屋」の機能強化(特産品開発及び情報発信)と施設整備等					●				
20	地場産品直販所「かつば市」の機能強化									●
21	安芸地域の観光振興の推進～東部地域博覧会の開催～	●	●	●	●	●	●	●	●	●
22	世界ジオパーク認証を活かした観光の振興	●								
23	イルカのふれあい体験による交流人口の拡大	●								
24	岩崎弥太郎生家を核とした観光振興		●							
25	東洋町における体験観光の推進			●						
26	藤村製糸を活用した観光振興				●					
27	中芸地区における広域観光の推進				●	●	●	●	●	
28	魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大				●	●	●	●	●	
29	体験型観光と地域の加工品づくりの推進 ～大野台地は、えいところ!～					●				
30	世界に2つの「モノの庭」の誘客強化による交流人口の拡大							●		
31	集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり		●							
32	安田中山地区の活性化プロジェクト						●			
33	北川村温泉を核とした中山間振興							●		
34	馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト								●	

①削除

【安芸地域】

		室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	No.	改定案(平成27年度)
		10	8	7	7	9	8	7	6	5		
		●	●	●	●	●	●	●		●	1	ナス産地におけるまとまりづくりとブランド化の推進
		●	●				●	●	●		2	ユズを中心とした中山間振興
				●							3	ボンカンを活用した新商品の開発と販路の拡大
							●				4	「安田(あんだ)の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発
①拡充										●	5	白下糖の生産の拡大と観光への活用
②拡充	●		●								6	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化
		●								●	7	木質バイオマス活用の促進
									●		8	林業加工品の販売の促進
	●		●	●	●	●					9	芸東地域の水産物の付加価値の向上と販路の拡大
		●									10	加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上
	●										11	海洋深層水の利用拡大
		●									12	安芸市の地域食材を活用した商品づくりの推進
③拡充					●						13	地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進
④拡充・ 名称変更						●					14	地域資源を活用した新商品の開発と販路の拡大
⑤拡充						●					15	完全天日塩の生産の拡大と観光への活用
	●										16	キラメッセ室戸「菜市」の機能強化
			●								17	海の駅を拠点とした地域振興
						●					18	道の駅「田野駅屋」の機能強化(特産品開発及び情報発信)と施設整備等
										●	19	地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	20	安芸地域の観光振興の推進～東部地域博覧会の開催～
	●										21	世界ジオパーク認証を活かした観光の振興
⑥拡充・ 名称変更	●										22	「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大
		●									23	岩崎弥太郎生家を核とした観光振興
			●								24	東洋町における体験観光の推進
⑦拡充				●							25	藤村製糸を活用した観光振興
				●	●	●	●	●			26	中芸地区における広域観光の推進
				●	●	●	●	●			27	魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大
					●						28	体験型観光と地域の加工品づくりの推進 ～大野台地は、えいところ!～
⑧拡充								●			29	世界に2つの「モネの庭」の誘客強化による交流人口の拡大
①追加	●										30	旧椎名小学校を活用した地域振興(仮称)
		●									31	集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり
						●					32	安田中山地区の活性化プロジェクト
								●			33	北川村温泉を核とした中山間振興
									●		34	馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト

追加項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
30 旧椎名小学校を活用した地域振興 (室戸市)	旧椎名小学校を海をテーマにした観光施設(深海生物、ウミガメ等を展示するミニ水族館、標本などの模型の展示、魚さばき体験スペースの設置等)に改修し、併せて集落活動センターを設置することにより、住民主体の活動を促進し、地域の課題解決や交流人口の拡大を図る。	・室戸市 ・NPO法人日本ウミガメ協議会 ・地域住民団体(椎名常会) ・椎名大数組合			◆施設改修 ◆情報発信 ◆集落活動センターの設置

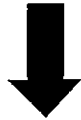
第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
			施設改修 関係機関との協議	設計・施工 情報発信 PR方法の検討・実施		
			集券活動センターの設置 集券活動センターの検討・設置	活動の展開		

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
6 白下糖の生産の拡大と観光への活用 《芸西村》	伝統ある芸西村の白下糖づくりを伝承し、白下糖の生産拡大と新たな加工品を開発・販売することにより、白下糖のブランド化(認知度アップ)と地域生産者の所得向上を目指す。	・芸西村 ・芸西村製糖組合 ・生産者グループ	<ul style="list-style-type: none"> -先進地視察(H23、黒潮町:黒糖新製造ライン等調査、H24、香川県:脱炭酸調査) -白下糖を使用した料理の試食会(H23、安芸地域資源活用共有会議) -芸西村地域AP産業推進連絡会議開催(H24、5回) -芸西白下糖の成分分析実施(H23) ◆サトウキビ収獲量の増加(H23年度:25トン、H24年度:38トン(前年比120%)) 	<ul style="list-style-type: none"> -製糖組合員の高齢化に伴い伝統技術の継承者(後継者)の育成 -白下糖を活用した新商品・加工品の開発 -サトウキビ作付面積の拡大 -製造施設の機能強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆サトウキビ作付け面積の拡大 ◆技術を継承する人材の育成 ◆白下糖の品質向上 ◆新たな商品の企画開発 ◆白下糖を活用した体験観光メニューの検討

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
5 白下糖の生産の拡大と観光への活用 《芸西村》	伝統ある芸西村の白下糖づくりを伝承し、白下糖の生産拡大と新たな加工品を開発・販売することにより、白下糖のブランド化(認知度アップ)と地域生産者の所得向上を目指す。	・芸西村 ・芸西村製糖組合 ・生産者グループ	<ul style="list-style-type: none"> -先進地視察(H23、黒潮町:黒糖新製造ライン等調査、H24、香川県:脱炭酸調査) -白下糖を使用した料理の試食会(H23、安芸地域資源活用共有会議) -芸西村地域AP産業推進連絡会議開催(H24、5回) -芸西白下糖の成分分析実施(H23) ◆サトウキビ収獲量の増加(H23年度:25トン、H24年度:38トン、H25年度:39トン) ◆伝承館改修(製糖体験スペース増築)(H26) 	<ul style="list-style-type: none"> -製糖組合員の高齢化に伴い伝統技術の継承者(後継者)の育成 -白下糖を活用した新商品・加工品の開発 -サトウキビ作付面積の拡大(サトウキビの買取り) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆サトウキビ作付け面積の拡大 ◆技術を継承する人材の育成 ◆白下糖の品質向上 ◆新たな商品の企画開発 ◆白下糖を活用した体験観光メニューの検討

修正後

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	計画		目標値(H27)	
サトウキビ作付け面積の拡大					→	サトウキビ収穫量 (H22-20t)	40t
遊休農地の有効活用・新規生産者の確保							
技術を継承する人材の育成					→		
人材の確保	製造技術の習得、その他関連する研修等への参加						
白下糖の品質向上					→		
味で勝負するための製品づくり ・成分分析による他との区別・アドバイザーの導入 他							
新たな商品の企画開発					→		
地域資源共有会館等を 活用した新商品の検討	新商品の開発・販売開始						
観光への活用					→		
体験メニュー受入のための 伝承館の改修の検討・改修							
体験観光メニューの検討							
体験観光受入れ							



第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	計画		目標値(H27)	
サトウキビ作付け面積の拡大					→	サトウキビ収穫量 (H22-20t)	40t
遊休農地の有効活用・新規生産者の確保							
技術を継承する人材の育成					→		
人材の確保	製造技術の習得、その他関連する研修等への参加						
白下糖の品質向上					→		
味で勝負するための製品づくり ・成分分析による他との区別・アドバイザーの導入・産地原の作成							
新たな商品の企画開発					→		
地域資源共有会館等を 活用した新商品の検討	新商品の開発・販売開始						
観光への活用					→		
体験メニュー受入のための 伝承館の改修の検討・改修							
体験観光メニューの検討							
体験観光受入れ							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 《室戸市、東洋町》	土佐備長炭の生産量の増大と後継者の育成を図る。	・室戸市木炭振興会 ・土佐備長炭生産組合	(室戸市木炭振興会) ・組織化:H19設立 ・施設等整備(H21:研修室2基、H22:研修室1基) ・研修生の受入れ(H21:3人、H22:5人、H23:7人、H24:12人) ◆施設整備により、研修生の継続した受入れにつながっている。 (土佐備長炭生産組合) ・組織化:H21設立 ・施設等整備(H21:共同室2基、H22:共同室1基、保管庫1棟、H25:共同室3基、フォークリフト1台) ・研修生の受入れ(H21:3人、H22:2人、H23:4人、H24:4人) ・新商品(オガ炭)製造の検討(H25) ◆原木の共同購入、共同出荷の開始(H21~)により、生産性が向上した。 ◆施設整備により月産出荷能力(箱=12kg)が増加した。(H21:2,150箱、H22:3,425箱、H23:3,548箱、H24:3,670箱) ◆製品規格を10種から19種へ広げ、末端利用者のニーズに対応している。	-原木の安定確保 -更なる品質の向上と規格の均一化 -研修終了後の就業定着化(事業化時の初期投資(家整備)が不安) (土佐備長炭生産組合) -品質の評価や知名度も高まりつつあるが、紀州産との価格差が解消されていない。 (室戸市木炭振興会) -原木の共同購入・共同出荷の取組がなされていないため、際立った増産には至っていない。	(室戸市木炭振興会) (土佐備長炭生産組合) ◆新規製炭者の育成と量産体制の強化 ◆品質・規格の向上と新商品開発ほか (室戸市木炭振興会) ◆共同出荷・販売の取組 (土佐備長炭生産組合) ◆原木配給施設設置



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 《室戸市、東洋町》	土佐備長炭の生産量の増大と後継者の育成を図る。	・室戸市木炭振興会 ・室戸木炭生産組合(仮称) ・土佐備長炭生産組合	(室戸市木炭振興会) ・組織化:H19設立 ・施設等整備(H21:研修室2基、H22:研修室1基) ・研修生の受入れ(H21:3人、H22:5人、H23:7人、H24:12人、H25:1人、H26:2人) ◆施設整備により、研修生の継続した受入れにつながっている。 (土佐備長炭生産組合) ・組織化:H21設立 ・施設等整備(H21:共同室2基、H22:共同室1基、保管庫1棟、H25:共同室4基、フォークリフト1台) ・研修生の受入れ(H21:3人、H22:2人、H23:4人、H24:4人、H25:2人、H26:1人) ・新商品(オガ炭)製造の検討(H25) ◆原木の共同購入、共同出荷の開始(H21~)により、生産量の拡大と安定出荷につながっている。 ◆施設整備により月産出荷能力(箱=12kg)が増加した。(H21:2,150箱、H22:3,425箱、H23:3,548箱、H24:3,670箱、H25:4,190箱) ◆製品規格を10種から19種へ広げ、末端利用者のニーズに対応している。	-原木の安定確保 -更なる品質の向上と規格の均一化 -研修終了後の就業定着化(事業化時の初期投資(家整備)が不安) (土佐備長炭生産組合) -品質の評価や知名度も高まりつつあるが、紀州産との価格差が解消されていない。 (室戸市木炭振興会) -原木の共同購入・共同出荷の取組がなされていないため、際立った増産には至っていない。	(室戸市木炭振興会) (室戸木炭生産組合(仮称)) (土佐備長炭生産組合) ◆新規製炭者の育成と量産体制の強化 ◆品質・規格の向上と新商品開発ほか (室戸市木炭振興会) ◆共同出荷・販売の取組 (土佐備長炭生産組合) ◆原木配給施設設置

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
新規製炭者の育成と量産体制の強化					→	新規就労者確保 共同窯設置 生産量の増産	就労者 5名 6基 30t/年/基
研修生の受け入れ							
共同窯の設置							
品質・規格の向上と新商品開発ほか					→	新規商品開発	1商品
アドバイザーの招聘、勉強会の開催							
販促用DVD・取扱解説チラシ作製・看板設置・県内外イベントへの参加							
共同出荷・販売の取組(室戸市木炭振興会)					→		
原木の共同調達、製品の共同出荷・販売の取組							
原木配給施設設置(土佐浦長炭生産組合)					→	原木配給施設	1箇所
原木配給ストックヤードの設置							



第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
新規製炭者の育成と量産体制の強化					→	新規就労者確保 共同窯設置 生産量の増産	就労者 5名 6基 30t/年/基
研修生の受け入れ							
共同利用施設(炭窯、保管庫等)の設置							
品質・規格の向上と新商品開発ほか					→	新規商品開発	1商品
アドバイザーの招聘、勉強会の開催							
販促用DVD・取扱解説チラシ作製・看板設置・県内外イベントへの参加							
共同出荷・販売の取組(室戸市木炭振興会)					→		
原木の共同調達、製品の共同出荷・販売の取組							
原木配給施設設置(土佐浦長炭生産組合)					→	原木配給施設	1箇所
原木配給ストックヤードの設置							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進 《奈半利町》	地域資源を活用した加工品をつくる施設を整備することにより、地域特産品の生産と販路の拡大を図るとともに地域の生産者の収入の安定化を目指す。	-奈半利町 -奈半利なんでも市加工グループ -いちじく加工品グループ -加賀郷漁協女性部 -JA土佐あき			◆施設整備の検討 ◆加工施設の整備 ◆商品づくり



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進 《奈半利町》	地域資源を活用した加工品をつくる施設を整備することにより、地域特産品の生産と販路の拡大を図るとともに地域の生産者の収入の安定化を目指す。	-奈半利町 -奈半利なんでも市加工グループ -いちじく加工品グループ -高知県漁協加賀郷支所女性部 -JA土佐あき	【JA加工施設(奈半利味増)】 ◆産振補助金を活用し、施設の増床及び機械の追加導入を行った(H26) 【農産加工施設】 ◆新商品の開発及び担い手の人材育成のため、エリアマネジメントを実施した(H26) 【水産加工施設】 ◆新商品の開発及び担い手の人材育成のため、エリアマネジメントを実施した(H26)	-施設整備に白けた関係機関等の調整 -既存商品の販路拡大 -新商品の開発及び販売体制の強化	◆施設整備の検討 ◆加工施設の整備 ◆商品づくり

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	施設整備の検討 加工施設の整備検討	生産体制づくりの検討			H25売上額 農産加工品 :500万円 水産加工品 :150万円	農産加工品 750万円 水産加工品 200万円
		加工施設の整備 農産加工場の設計・建設 水産加工場の設計・建設	農産加工場の施設拡充 水産加工場の施設拡充			
		商品づくり アドバイザーの活用等による新商品開発				
			販売ルートの開拓			



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	施設整備の検討 加工施設の整備検討	生産体制づくりの検討			H25売上額 農産加工品 :500万円 水産加工品 :150万円	農産加工品 750万円 水産加工品 200万円
		加工施設の整備 JA加工施設の設計・建設 農産加工施設の設計・建設 水産加工施設の設計・建設	農産加工施設の設計・建設 水産加工施設の設計・建設 運営体制の強化 運営体制の強化			
		商品づくり 基本構想の策定				
			アドバイザーの活用等による新商品の開発及び既存商品のフラッシュアップ			
			販売ルートの開拓			

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
15 田野町の地域資源を活用した新商品の開発と販路の拡大 《田野町》	田野町の地域資源を活用した商品を開発し、販路を拡大していくことにより、雇用の確保と地域の経済の活性化を目指す。	-四国部品調中芸事業所 -民間企業	-酒粕スイーツ「蔵乃風」「蔵人の菓」等の開発、販売開始(H22~23) -塩シャーベット「塩姫」等、生菓のお菓子「爪の垢」の開発、販売開始(H24~25) ◆酒粕スイーツに関しては、数種類の商品を開発することができた。その後、新しい商品開発も行い、商品構成を充実させることができた。 ◆酒粕以外の商品についても開発に取り組み、数種類の商品が販売となった。 -酒粕ドレッシング試作・改良、パッケージデザイン作成(H22~23)(ダイイチダルマ食品調※H24事業廃止) -田野町の産品である塩を使ったアイス、大塚の商品開発、販売(徳松崎冷菓工業)(H25)※H25はAP15関連	-販売場所及び体制の確立 -製造コストの低減 -製造工程の機械化の検討 -地域食材の活用による新商品づくり -酒造場、農水産物、加工業者等との連携 -新商品のブランド化 -販路の拡大	◆商品開発と製品化 ◆生産体制の整備 ◆販売ルートの開拓
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 地域資源を活用した新商品の開発と販路の拡大 《田野町》	田野町及び周辺地域の地域資源を活用した商品を開発し、販路を拡大していくことにより、雇用の確保と地域の経済の活性化を目指す。	-四国部品調中芸事業所 -徳松崎冷菓工業 -民間企業	-酒粕スイーツ「蔵乃風」「蔵人の菓」等の開発、販売開始(H22~23) -塩シャーベット「塩姫」等、生菓のお菓子「爪の垢」の開発、販売開始(H24~25) ◆酒粕スイーツに関しては、数種類の商品を開発することができた。その後、新しい商品開発も行い、商品構成を充実させることができた。 ◆酒粕以外の商品についても開発に取り組み、数種類の商品が販売となった。 -酒粕ドレッシング試作・改良、パッケージデザイン作成(H22~23)(ダイイチダルマ食品調※H24事業廃止) -田野町の産品である塩を使ったアイス等の商品開発、販売(徳松崎冷菓工業)(H25)※H25はAP15(天日塩)関連	-販売場所及び体制の確立 -製造コストの低減 -生産体制の効率化 -新商品開発のための地域食材の選定 -酒造場、農水産物、加工業者等との連携 -販路の拡大	◆商品開発と製品化 ◆生産体制の整備 ◆販売ルートの開拓
修正後					

第2期中計画					H28年度	指し及び目標	
H24	H25	H26	H27	計画		目標値(H27)	
商品開発と製品化					酒粕商品販売額 (H23:4,200千円)	42,000千円	
市場調査、商品の開発とブラッシュアップ、アドバイザーの活用等							
生産体制の整備							
生産体制の整備と製造機械の導入等							
販売ルートの開拓							
販売ルートの開拓と確保							



第2期中計画					H28年度	指し及び目標	
H24	H25	H26	H27	計画		目標値(H27)	
商品開発と製品化					酒粕商品販売額 (H23:4,200千円)	42,000千円	
市場調査、商品の開発とブラッシュアップ、アドバイザーの活用等							
生産体制の整備							
生産体制の整備と製造機械の導入等							
販売ルートの開拓							
販売ルートの開拓と確保							
				人材(営業等)の育成・強化			

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
16 完全天日塩の生産の拡大と観光への活用 《田野町》	製塩ハウス施設等の整備と併せて新たな就業者の確保・育成を行うとともに、塩づくり体験を通して、完全天日塩の産業化と交流人口の拡大を図る。	・田野町 ・民間事業者	<ul style="list-style-type: none"> 塩づくりの過程を見学・体験できる施設を整備(H24) 町内の産業振興や移住促進等の事業とあわせて、体験施設運営や塩づくりに関する地域おこし協力隊を導入(H25～) ◆体験用施設を整備し、地域おこし協力隊を導入したことにより、体験受入れによる交流人口の増に取組む環境ができた。 ◆体験用施設での塩づくりの研修も可能となり、新規就業者育成にも活用することができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 集客できる体験メニューの充実 体験施設の実施体制の確立 新規就業者の確保・育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆塩づくり体験・研修施設の整備 ◆新規就業者の育成 ◆新規就業者の独立に向けた環境整備

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
15 完全天日塩の生産の拡大と観光への活用 《田野町》	製塩ハウス施設等の整備と併せて新たな就業者の確保・育成を行うとともに、塩づくり体験を通して、完全天日塩の産業化と交流人口の拡大を図る。	・田野町 ・民間事業者	<ul style="list-style-type: none"> 塩づくりの過程を見学・体験できる施設を整備(H24) 町内の産業振興や移住促進等の事業とあわせて、体験施設運営や塩づくりに関する地域おこし協力隊を導入(H25:4人、H26:2人(12月時点)) ◆体験用施設を整備し、地域おこし協力隊を導入したことにより、体験受入れによる交流人口の増に取組む環境ができた。 ◆体験用施設での塩づくりの新規就業者育成にも活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 集客できる体験メニューの充実 体験施設の実施体制の確立 新規就業者の確保・育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆塩づくり体験・研修施設の整備 ◆新規就業者の育成 ◆新規就業者の独立に向けた環境整備

修正後

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
塩づくり体験・研修施設の整備					→	体験受入回数 (H23:50回)	100回
体験交流・研修施設の検討・整備						生産量 (H23:2t)	6t
塩づくり体験を取り入れた観光メニューの造成及び実施体制の確立					→		
新規就業者の育成							
新規就業者の確保・研修・育成					→		
新規就業者の独立に向けた環境整備							
関係者間の協議・調整							
施設等の整備及び運営の検討							



第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
塩づくり体験・研修施設の整備					→	体験受入回数 (H23:50回)	100回
体験交流・研修施設の検討・整備						受入人数 (H23:体験330人、見学458人 計788人)	体験960人、見学1,040人 計2,000人
塩づくり体験を取り入れた観光メニューの造成及び実施体制の確立					→	生産量 (H23:2t)	6t
新規就業者の育成							
新規就業者の確保・研修・育成					→		
新規就業者の独立に向けた環境整備							
関係者間の協議・調整、方針の検討							
施設等の整備及び運営の検討							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 イルカのふれあい体験 による交流人口の拡大 (室戸市)	室戸ドルフィンセンターの待合施設やシャワー施設を備えた施設建設により、利用者満足度の向上、物販スペース等の拡大による事業売り上げの向上を図る。また、陸上プール設置及びイルカ飼育頭数を増やすことによる体験者の増加を図る。	・NPO法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸市	・施設・設備等(ウエットスーツ、浮き杖橋、倉庫、屋外看板)の充実(H21～23) ・広告宣伝の強化(H21～23) ・体験プログラムの見直し(H22～23) ◆高額プログラムのドルフィンスイムの参加者が大幅に増加した。(H20、1,204人からH24、1,541人) ◆H24、新たな陸上施設の建築及び陸上プール(直径10m、水深5m)の整備により、より安心・安全にふれあい体験が利用できるようになった。また、物販・体験スペースも確保され、来場者の満足度の向上、事業収入の増加に向けた土台を築いた。	・ジオパーク等地域の観光素材を組み合わせた情報発信 ・より多くの集客を図るための広報・営業の検討 ・周辺施設等との連携による集客	◆情報発信 ◆ドルフィンセンターの機能充実
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大 (室戸市)	室戸岬漁港(新港)の「海の駅とろむ」を核として、マリントレジャーによる交流人口の拡大を図る。室戸ドルフィンセンターの待合施設やシャワー施設を備えた施設建設により、利用者満足度の向上、物販スペース等の拡大による事業売り上げの向上を図る。また、陸上プール設置及びイルカ飼育頭数を増やすことによる体験者の増加を図る。	・NPO法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸市	・施設・設備等(ウエットスーツ、浮き杖橋、倉庫、屋外看板)の充実(H21～23) ・広告宣伝の強化(H21～23) ・体験プログラムの見直し(H22～23) ◆高額プログラムのドルフィンスイムの参加者が大幅に増加した。(H20、1,204人からH24、1,541人) ◆H24、新たな陸上施設の建築及び陸上プール(直径10m、水深5m)の整備により、より安心・安全にふれあい体験が利用できるようになった。また、物販・体験スペースも確保され、来場者の満足度の向上、事業収入の増加に向けた土台を築いた。	・ジオパーク等地域の観光素材を組み合わせた情報発信 ・より多くの集客を図るための広報・営業の検討 ・周辺施設等との連携による集客 ・ダイビング事業展開のための事業推進体制の整備	◆情報発信 ◆ドルフィンセンターの機能充実 ◆ダイビング事業展開に向けた体制整備等
修正後					

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
情報発信					→	室戸ドルフィンセンター 来場者数 (H22-22,181人)	27,000人
パンフレット・HP・旅行雑誌等での情報発信							
ドルフィンセンターの機能充実 待合・シャワー室等を備えた施設整備					→		
陸上プール設置及びイルカ飼育頭数の増							



第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
情報発信					→	室戸ドルフィンセンター 来場者数 (H22-22,181人)	27,000人
パンフレット・HP・旅行雑誌等での情報発信							
ドルフィンセンターの機能充実 待合・シャワー室等を備えた施設整備					→		
陸上プール設置及びイルカ飼育頭数の増							
					→	ダイビング事業展開に向けた体制整備等 卒業進級体制の整備と漁業関係者との調整	施設整備

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 藤村製糸を活用した観光振興 《奈半利町》	藤村製糸を活かした観光振興をなはり浦の会とともにを行い交流人口の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> -藤村製糸 -なはり浦の会 -奈半利町 -なはり観光文化協会 			<ul style="list-style-type: none"> ◆観光文化施設(記念館)の整備 ◆ガイド組織の活動強化 ◆地域観光資源の発掘、磨き上げ ◆情報発信

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 藤村製糸を活用した観光振興 《奈半利町》	藤村製糸を活かした観光振興をなはり浦の会とともにを行い交流人口の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> -藤村製糸 -なはり浦の会 -奈半利町 -なはり観光文化協会 	<ul style="list-style-type: none"> -高知県観光拠点等整備事業費補助金を活用し、観光拠点施設となる藤村製糸記念館を建設した(H26) 	<ul style="list-style-type: none"> -藤村製糸記念館の活用拡大 -関係機関との連携 -広報等の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆観光文化施設(記念館)の整備 ◆ガイド組織の活動強化 ◆地域観光資源の発掘、磨き上げ ◆情報発信

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
		<p>観光文化施設(記念館)の整備</p> <p>整備内容の検討</p> <p>施設の整備</p>			町並みガイド実績 H24、390人	800人/年
		<p>ガイド組織の活動強化</p> <p>活動拠点の検討</p> <p>活動拠点の整備</p> <p>ガイド組織の法人化の検討</p> <p>活動地域、活動内容の拡大の検討 (関係機関等とのガイドスキルアップ勉強会・交流会の開催)</p>				
		<p>地域観光資源の発掘、磨き上げ</p> <p>施設展示内容の検討・町内観光資源調査</p>				
		<p>情報発信</p> <p>東部博覧会開催に併せた施設PR</p> <p>観光文化施設や町並みガイド等、奈半利町をパンフレットやホームページ等でPR</p>				



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
		<p>観光文化施設(記念館)の整備</p> <p>整備内容の検討</p> <p>施設の整備</p> <p>展示物等の充実</p>			町並みガイド実績 H24、390人	800人/年
		<p>ガイド組織の活動強化</p> <p>活動拠点の検討</p> <p>活動拠点の整備</p> <p>ガイド組織の法人化の検討</p> <p>活動地域、活動内容の拡大の検討 (関係機関等とのガイドスキルアップ勉強会・交流会の開催)</p>				
		<p>地域観光資源の発掘、磨き上げ</p> <p>町内観光資源の調査及び磨き上げ</p>				
		<p>情報発信</p> <p>案内看板の設置及びパンフレットの作成</p> <p>東部博覧会開催に併せた施設PR</p> <p>観光文化施設や町並みガイド等、奈半利町をパンフレットやホームページ等でPR</p>				

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
30 世界に2つの「モノの庭」の誘客強化による交流人口の拡大 (北川村)	県外での広告宣伝や、それに連動した営業活動によって、来園への新たな動機付けにつながる施設整備やイベントの実施をPRして集客力を高める。	・北川村 ・きたがわジャルダン	・旧ワイナリーを多目的ホールへ改修(H22) ・TVや専門誌等様々な広告媒体を用いたPR(H22～23) ・経営コンサルタントのアドバイスを受けたコスト削減への取組(H23～) ・庭園整備(H22、H23) ◆入園者数(決算期の毎年2月から翌年1月までの年間入園者数) H21.2～H22.1 60,040人 H22.2～H23.1 53,369人 H23.2～H24.1 59,101人 H24.2～H25.1 55,288人 対H23:93.5% 対H22:103.6%	・入園者数の減少傾向(開園1年目の20万人超から、近年は5万人台で推移) ・県外での認知度が低い(GAP調査結果) ・誘客対策の強化 ・営業体制の強化	◆主に高知県内を対象とした広告宣伝と営業活動 ◆新商品の開発と販売促進 ◆経営改善に向けた取組

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
29 世界に2つの「モノの庭」の誘客強化による交流人口の拡大 (北川村)	県外での広告宣伝や、それに連動した営業活動によって、来園への新たな動機付けにつながる施設整備やイベントの実施をPRして集客力を高める。	・北川村 ・きたがわジャルダン	・旧ワイナリーを多目的ホールへ改修(H22) ・TVや専門誌等様々な広告媒体を用いたPR(H22～23) ・経営コンサルタントのアドバイスを受けたコスト削減への取組(H23～) ・庭園整備(H22、H23) ・新支配人の着任(H25) ・接客アドバイザーによる接客マナー研修の実施(H25～) ◆入園者数(決算期の毎年2月から翌年1月までの年間入園者数) H21.2～H22.1 60,040人 H22.2～H23.1 53,369人 H23.2～H24.1 59,101人 H24.2～H25.1 55,288人 対H23:93.5% 対H22:103.6%	・入園者数の減少傾向(開園1年目の20万人超から、近年は5万人台で推移) ・県外での認知度が低い(GAP調査結果) ・誘客対策の強化 ・営業体制の強化	◆高知県内を中心に日帰り可能地域を対象とした広告宣伝と営業活動 ◆新商品の開発と販売促進 ◆経営改善に向けた取組

修正後

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
主に高知県内を対象とした広告宣伝と営業活動					→	入国者数 (H22:53,369人)	65,000人
タウン誌やパンフレット、ロコミ等を使った広告営業活動							
イベントの開催							
新商品の開発と販売促進					→		
【モネの庭】のブランドイメージを活かした商品づくりとネット販売等の販路構築							
経営改善に向けた取組					→		
コンサルタントを導入した経営改善							



第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
高知県内を中心に日帰り可能地域を対象とした広告宣伝と営業活動					→	入国者数 (H22:53,369人)	65,000人
マスコミへの情報提供、タウン誌やパンフレット、ロコミ等を使った広告営業活動							
イベントの開催							
新商品の開発と販売促進					→		
【モネの庭】のブランドイメージを活かした商品づくりとネット販売等の販路構築							
経営改善に向けた取組					→		
コンサルタントを導入した経営改善 職員を対象とした接客マナー研修の実施							

削除項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの販路と成果	課題	主な内容
5 エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大 (芸西村)	食べられる花エディブルフラワーの認知度アップを図るとともに、生食用エディブルフラワーの販路開拓と新たな加工品等の開発による販売促進や経営体制の構築を支援することにより、生産者の所得の向上を目指す。	・第2香南くろしお園	・H23、栽培ハウスを増棟(現在ハウス2棟、540m ²) ・生花を20店舗に納品(H24) ・「お花ソルト」を伊勢丹で販売開始(H25.3~) ・芸西村地域AP産業推進連絡会議開催(5回) ◆第2香南くろしお園指導員が「弥太郎商人塾」に参加し、加工品「お花ソルト」が商品化された。 ◆安芸地域資源活用共有会議でエディブル料理やスイーツの試食と提案された。	・エディブルフラワーの認知度アップ ・生花、加工品の販路拡大 ・営業活動が指導員一人のため営業力、広報不足 ・加工場等施設の機能強化	◆新たな商品の企画開発 ◆生食用エディブルフラワーの販路開拓 ◆認知度アップ・広告宣伝



削除

H2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28(F)	指標	目標値(H27)
新たな商品の企画開発	→					
・加工品等の開発・商品化 ・パッケージデザイン作成	・販路開拓及び広告宣伝活動 ・新たな加工品の開発					
	加工場等の機能充実 に関する検討	施設整備	生産・販売開始	→		
生食用エディブルフラワーの販路開拓	→					
	販路開拓、広告宣伝・営業活動					
認知度アップ・広告宣伝	→					
・宣伝用パンフレット作成 ・ホームページの立上げ	インターネットを活用した 販売システムの構築	→				
	販売促進					



削除

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
4 「安田(あんだ)の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発 《安田町》	マンゴー大福「安田の白い夢」を中心に、以前接触のあったバイヤーに対し、ロット数を確保した具体的な提案を行っていく。 また、町内で生産される農産物(マンゴー、イチジク、アスパラ等)を使用した新たな商品を企画開発し、県外を中心に販路開拓を行って、雇用の確保と生産者の所得の向上を図る。	-安田町 -生産者	-高知龍馬空港でのキャンペーンの展開(H24) -県外百貨店での高知フェアに出展(H24:銀座三越4月、大阪高島屋5月) -まるごと高知の報告会・商談会へ参加(H24) -オープン1周年記念イベント(H24) -H24製造量(月産):4月(11,600個)、5月(4,100個)、6月(4,200個) ◆安芸地域全体を視野に入れた原材料の選定と調達方法の検討	-導入した製造機械での本格生産に向けた大口の販路開拓 -原材料の安定確保に向けた仕組みづくり	◆商品の企画・開発 ◆生産体制の強化 ◆販路の開拓 ◆原料の安定生産

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
4 「安田(あんだ)の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発 《安田町》	マンゴー大福「安田の白い夢」を中心に、以前接触のあったバイヤーに対し、ロット数を確保した具体的な提案を行っていく。 また、町内で生産される農産物を使用した新たな商品を企画開発し、県外を中心に販路開拓を行って、雇用の確保と生産者の所得の向上を図る。	-安田町 -生産者	-高知龍馬空港でのキャンペーンの展開(H24) -JAL 麗か四国キャンペーンとのタイアップ(H25) -県外百貨店での高知フェアに出展(H25:銀座三越4月、大阪高島屋5月) -まるごと高知の報告会・商談会へ参加(H24) -まるごと高知での安田町フェアの実施(H26) -オープン1周年記念イベント(H25) -年間製造量:6万個以上(H25) ◆安芸地域全体を視野に入れた原材料の選定と調達方法の検討	-導入した製造機械での本格生産に向けた大口の販路開拓 -原材料の安定確保に向けた仕組みづくり	◆商品の企画・開発 ◆生産体制の強化 ◆販路の開拓 ◆原料の安定生産

修正後

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
商品の企画・開発 新たな商品の企画と開発の促進						売上高 (H23:施設整備) (H24:生産開始)	100百万円
生産体制の強化							
販路の開拓							
原料の安定生産							



第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
商品の企画・開発 新たな商品の企画と開発の促進						売上高 (H23:施設整備) (H24:生産開始)	100百万円
生産体制の強化							
販路の開拓							
原料の安定生産							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 安芸市の地域食材を活用した商品づくりの推進 《安芸市》	安芸の安全・安心な地域食材を活用し、新たな加工品の開発と既存商品の磨き上げを行うことで、交流人口の拡大による安芸市の経済の活性化を図るとともに、生産者の所得の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> -安芸市 -生産団体・グループ -民間事業者・加工業者 -安芸市観光協会 -「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会 -安芸「釜あげちりめん井」楽会 -安芸市商工会女性部 -JA土佐あき婦人部 -入河内大根のこそう会 	<ul style="list-style-type: none"> -土佐龍馬であい博でのこころざし社中開催(H22入場者:113千人、目標100千人) -ボランティアガイドの育成(40名)(H21~H23) ◆ボランティアガイドの力量アップや観光に係る人材が育成されてきた。地域食材(ナス、シラス)を活かした食の提供の動きにつながっている。 -安芸観光情報センターの設置(H23.3) -新たな特産品の開発(8品目)(H21~H23) ◆JA土佐あき婦人部「商人塾」受講などにより、なすまんの生産増(人材育成)、販路拡大に向けた動きにつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> -地域食材を活用した加工品の開発と販売 -食の提供の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業者と連携した地域食材を活用した商品の開発や販路の拡大 ◆生産施設や飲食施設の整備 ◆人材の発掘と育成等

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
12 安芸市の地域食材を活用した商品づくりの推進 《安芸市》	安芸の安全・安心な地域食材を活用し、新たな加工品の開発と既存商品の磨き上げを行うことで、交流人口の拡大による安芸市の経済の活性化を図るとともに、生産者の所得の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> -安芸市 -生産団体・グループ -民間事業者・加工業者 -安芸市観光協会 -「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会 -安芸「釜あげちりめん井」楽会 -安芸市商工会女性部 -JA土佐あき婦人部 -入河内大根のこそう会 	<ul style="list-style-type: none"> -土佐龍馬であい博でのこころざし社中開催(H22入場者:113千人、目標100千人) -ボランティアガイドの育成(40名)(H21~H23) ◆ボランティアガイドの力量アップや観光に係る人材が育成されてきた。地域食材(ナス、シラス)を活かした食の提供の動きにつながっている。 -安芸観光情報センターの設置(H23.3) -新たな特産品の開発(8品目)(H21~H23) ◆JA土佐あき婦人部「商人塾」受講などにより、なすまんの生産増(人材育成)、販路拡大に向けた動きにつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> -地域食材を活用した加工品の開発と販売 -食の提供の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業者と連携した地域食材を活用した商品の開発や販路の拡大 ◆飲食施設の整備 ◆人材の発掘と育成等

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	数値	目標値(H27)
事業者と連携した地域食材を活用した商品の開発や販路の拡大						
ナス・ユズ・土佐ジロー・シラスなどを活用した新たな加工品の開発・販売						
<ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大(商談会等の活用) ・情報発信(B級グルメ大会等でのPR活動や地域食材を活用した料理コンテストの開催) 						
生産施設や飲食設備の整備						
生産拡大に伴う施設・設備等の整備						
安芸の地域食材を提供する施設(レストラン等)の検討及び整備						
人材の発掘と育成等						
土佐MBA・土佐FBCを活用した育成等						
企業訪問や商工会議所女性部・中小企業家同友会安芸支部等と連携しての人材発掘						



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	数値	目標値(H27)
事業者と連携した地域食材を活用した商品の開発や販路の拡大						
ナス・ユズ・土佐ジロー・シラスなどを活用した新たな加工品の開発・販売						
<ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大(商談会等の活用) ・情報発信(B級グルメ大会等でのPR活動や地域食材を活用した料理コンテストの開催) 						
飲食設備の整備						
施設・設備等の整備(庵中ふるさと館)						
人材の発掘と育成等						
土佐MBA・土佐FBCを活用した育成等						
企業訪問や商工会議所女性部・中小企業家同友会安芸支部等と連携しての人材発掘						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 道の駅「田野駅」の機能強化(特産品開発及び情報発信)と施設整備等 《田野町》	地域の特産品や観光情報の発信機能を強化し、田野駅の集客力を最大限に有効活用する。併せて地域農産物等を活用した加工品を開発・販売し、消費拡大を図っていく。さらに、それらに資する施設整備等を行う。	・田野町 ・道の駅指定管理者 ・加工施設指定管理者 ・生産者組織	・加工品7品目(たのかつ、鯖コロッケ等)を開発(H21) ・加工品3品目(コロッケ2種、鹿肉カレーライス)を試作(H22) ◆加工品の開発に関しては、22年度までに10品目の開発・試作がなされて販売されてきたが、販売が継続されているものは少ない。 ・田野駅屋拡張(74㎡増)(H23.3) ◆情報発信コーナーが整備されたことで、中芸地域以東の観光情報発信の拠点となった。	・情報発信機能の更なる強化 ・地場産品を活用した魅力ある特産品(加工品)の開発と販売体制の強化 ・施設整備に向けた関係機関等の調整	◆情報発信機能の強化 ◆加工品の開発・販売の強化 ◆機能強化のための施設整備等

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 道の駅「田野駅」の機能強化(特産品開発及び情報発信)と施設整備等 《田野町》	地域の特産品や観光情報の発信機能を強化し、田野駅の集客力を最大限に有効活用する。併せて地域農産物等を活用した加工品を開発・販売し、消費拡大を図っていく。さらに、それらに資する施設整備等を行う。	・田野町 ・道の駅指定管理者 ・加工施設指定管理者 ・生産者組織	・加工品7品目(たのかつ、鯖コロッケ等)を開発(H21) ・加工品3品目(コロッケ2種、鹿肉カレーライス)を試作(H22) ◆加工品の開発に関しては、22年度までに10品目の開発・試作がなされて販売されてきたが、販売が継続されているものは少ない。 ・田野駅屋拡張(74㎡増)(H23.3) ◆情報発信コーナーが整備されたことで、中芸地域以東の観光情報発信の拠点として活動している。	・情報発信機能の更なる強化 ・地場産品を活用した魅力ある特産品(加工品)の開発と販売体制の強化 ・施設整備に向けた関係機関等の調整 ・運営体制の強化	◆情報発信機能の強化 ◆加工品の開発・販売の強化 ◆機能強化のための施設整備等

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
情報発信機能の強化						
市場調査、情報発信コーナーの認知度アップに向けた検討と取組						
観光・宿泊施設との連携による情報の共有化、ガイドマップやHPでの情報発信による観光施設等への誘導						
人材育成(スキルアップ研修、先進地視察等)						
加工品の開発・販売の強化						
生産者と連携した加工品づくり						
機能強化のための施設整備等						
関係者間の協議及び基本構想づくり						
基本構想の具体化と施設整備等						



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
情報発信機能の強化						
市場調査、情報発信コーナーの認知度アップに向けた検討と取組						
観光・宿泊施設との連携による情報の共有化、ガイドマップやHPでの情報発信による観光施設等への誘導						
人材育成(スキルアップ研修、先進地視察等)						
加工品の開発・販売の強化						
生産者と連携した加工品づくり						
機能強化のための施設整備等						
関係者間の協議及び基本構想づくり						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20 地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化 《芸西村》	地場産品直販所「かっぱ市」のリニューアルオープンに伴い、花卉類・鮮魚類の販売を拡充させ、他の直販所と差別化することで売上の増加を図るとともに、地域経済の活性化を図る。 村内で生産される農産物等(ピーマン・黒砂糖等)を使用した新たな商品を企画開発し、村内産品の付加価値を高める。	芸西村 岡かっぱ市 生産者グループ	-H23年10月産振補助金を活用し、リニューアルオープン -営業時間の延長 ◆売り場面積を1.5倍に拡充し、花卉部門を中心として、惣菜・鮮魚部門等の売上増加と商品回転率を高め、収益の増加を図る。 ◆外販部門の継続雇用と、テイクアウト飲食部門の充実・拡充により、短期雇用を図る。 -かっぱ市職員が農業創造セミナー等の研修会に積極的に参加(H23) -産振アドバイザーの助言による試作商品の販売(H23) -店内調理場での弁当等加工品の販売開始(H24.10~) ◆具体的な活動計画を作成するなど、サービス向上・売上増加に向けた意識の高揚が図られた。	-花卉出展量の確保 -新商品の開発、新商品の原材料確保(サトウキビ等) -商品集荷システムの構築 -テイクアウト商品の充実	◆地域資源を活用した地域経済の活性化 ◆安定供給の仕組みづくり ◆新たな商品の企画開発 ◆地域観光情報等の発信

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化 《芸西村》	地場産品直販所「かっぱ市」のリニューアルオープンに伴い、花卉類・鮮魚類の販売を拡充させ、他の直販所と差別化することで売上の増加を図るとともに、地域経済の活性化を図る。 村内で生産される農産物等(ピーマン・黒砂糖等)を使用した新たな商品を企画開発し、村内産品の付加価値を高める。	芸西村 岡かっぱ市 生産者グループ	-H23年10月産振補助金を活用し、リニューアルオープン -営業時間の延長 ◆売り場面積を1.5倍に拡充し、花卉部門を中心として、惣菜・鮮魚部門等の売上増加と商品回転率を高め、収益の増加を図る。 ◆外販部門の継続雇用と、テイクアウト飲食部門の充実・拡充により、短期雇用を図る。 -かっぱ市職員が農業創造セミナー等の研修会に積極的に参加(H23) -産振アドバイザーの助言による試作商品の販売(H23) -店内調理場での弁当等加工品の販売開始(H24.10~) -新商品:黒糖みつ -黒糖みつを使用したかき氷の販売開始 -店内にイトインコーナー設置 ◆具体的な活動計画を作成するなど、サービス向上・売上増加に向けた意識の高揚が図られた。	-花卉出展量の確保 -新商品の開発、新商品の原材料確保(サトウキビ等) -商品集荷システムの構築 -テイクアウト商品の充実	◆地域資源を活用した地域経済の活性化 ◆安定供給の仕組みづくり ◆新たな商品の企画開発 ◆地域観光情報等の発信

修正後

第2期計画					H28年度	指す及び目標	
H24	H25	H26	H27	計画		目標値(H27)	
地域資源を活用した地域経済の活性化					施設整備 着手	売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円
芸西村特産品加工施設(仮称)の検討							
安定供給の仕組みづくり					施設整備 着手	売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円
花卉販売量の確保、集荷システムの構築 他							
新たな商品の企画開発					施設整備 着手	売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円
地域資源共有会議等を活用した新商品の検討							
効果的なPRの実施(ホームページの作成、スタッフブログ、定期的な催事の開催 他)					施設整備 着手	売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円
新商品の開発・販売							
地域観光情報等の発信					施設整備 着手	売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円
観光情報等の発信施設としての役割を担うための検討							
インターネットの整備、情報発信コーナー設置(パンフレット等の配布)					施設整備 着手	売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円



第2期計画					H28年度	指す及び目標	
H24	H25	H26	H27	計画		目標値(H27)	
地域資源を活用した地域経済の活性化					施設整備 着手	売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円
芸西村特産品加工施設(仮称)の検討							
安定供給の仕組みづくり					施設整備 着手	売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円
花卉販売量の確保、集荷システムの構築 他							
新たな商品の企画開発					施設整備 着手	売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円
地域資源共有会議等を活用した新商品の検討							
効果的なPRの実施(ホームページの作成、スタッフブログ、定期的な催事の開催 他)					施設整備 着手	売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円
新商品の開発・販売							
地域観光情報等の発信					施設整備 着手	売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円
観光情報等の発信施設としての役割を担うための検討							
インターネットの整備、情報発信コーナー設置(パンフレット等の配布)					施設整備 着手	売上額 (H22:87,000千円)	106,000千円

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 世界ジオパーク認証を かした観光の振興 (宝戸市)	世界ジオパークに選定され た宝戸ジオサイトにおける 受入体制の整備や商品開 発に取り組み交流人口の拡 大を図っていく。	・宝戸市 ・宝戸ジオパーク 推進協議会 ・宝戸市観光協会	<ul style="list-style-type: none"> -看板や歩道、駐車場などの環 境整備(H21~23) -ガイドやジオパークマスターの養 成研修の実施(H21~H23) (H25年4月ガイド研修者:48人) -世界ジオパーク認証(H23.9.18) ◆モニターツアーの実施(H24)に よるツアー参加者のニーズを把握 した。 ◆日本ジオパーク全国大会を開 催し(H24.11.参加者:約2,200人) 全国大会を開催することによる宿 泊・食事利用等の経済効果と地 域住民との連携が図られるととも に宝戸ジオパークの理解が促進 された。 ◆拠点施設整備の基本計画ワー クショップの開催(H24)により、地 域住民が積極的に関わった計画 が策定された。 	<ul style="list-style-type: none"> -受入れ体制の強化 -拠点施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ガイド育成 ◆ジオツアーの開発 ◆情報発信、国際交 流 ◆商品開発 ◆拠点施設整備 ◆サイト整備

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 世界ジオパーク認証を かした観光の振興 (宝戸市)	世界ジオパークに選定され た宝戸ジオサイトにおける 受入体制の整備や商品開 発に取り組み交流人口の拡 大を図っていく。	・宝戸市 ・宝戸ジオパーク 推進協議会 ・宝戸市観光協会	<ul style="list-style-type: none"> -看板や歩道、駐車場などの環 境整備(H21~23) -ガイドやジオパークマスターの養 成研修の実施(H21~H23) (H25年4月ガイド研修者:48人) -世界ジオパーク認証(H23.9.18) ◆モニターツアーの実施(H24)に よるツアー参加者のニーズを把握 した。 ◆日本ジオパーク全国大会を開 催し(H24.11.参加者:約2,200人) 全国大会を開催することによる宿 泊・食事利用等の経済効果と地 域住民との連携が図られるととも に宝戸ジオパークの理解が促進 された。 ◆拠点施設整備の基本計画ワー クショップの開催(H24)により、地 域住民が積極的に関わった計画 が策定された。 -日本ジオパーク西条市 ◆日本ジオパーク西条市の結果、 西条市となった。 	<ul style="list-style-type: none"> -受入れ体制の強化 -拠点施設整備 -世界ジオパーク西条市 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ガイド育成 ◆ジオツアーの開発 ◆情報発信、国際交 流 ◆商品開発 ◆拠点施設整備 ◆サイト整備

修正後

第2期計画					目標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	計画	目標値(H27)
ガイド作成					ジョバークガイド発行者数 (H22-20人)	
ガイド研修(登録ガイド数の増加・外国語対応ガイドの育成・派遣ガイドの育成)						
深層水・浅草浜・泉の谷・加賀木つつみサイト等のガイド作成						
ジョブターの開発					ジョバーク関係施設来訪者 (H22-53,473人) ※ドルフィンセンターを含む	
ジョバーク派遣バス 実施実施					【実施実績の結果により】派遣バスの運行	
既存体験プログラム(乗換体験・職業体験等)のブラッシュアップ						
コーディネート組織の検討						
情報発信、関係交流					世界ジョバーク再調査	
ジョバーク全国大会開催					-全国大会・関係会議でのPR・産戸産こどもサマースクール等イベントの開催	
商品開発						
ニーズ調査					商品開発 (アドバイザー活用)	
拠点施設整備						
基本構想・基本設計					実施設計	
					拠点施設の整備	
サイト整備						
					デジタルセンター・インフォメーションセンター機能強化	
深層水サイトアクアファームの展示充実					泉の谷・とらむサイト等の整備	
西長川町並みサイト 拠点施設整備					嶋山サイト・西山サイト等の派遣コース整備	
朝霞サイト多言語整備						



第2期計画					目標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	計画	目標値(H27)
ガイド作成					ジョバークガイド発行者数 (H22-20人)	
ガイド研修(登録ガイド数の増加・外国語対応ガイドの育成・派遣ガイドの育成)						
深層水・浅草浜・泉の谷・加賀木つつみサイト等のガイド作成						
ジョブターの開発					ジョバーク関係施設来訪者 (H22-53,473人) ※ドルフィンセンターを含む	
ジョバーク派遣バス 実施実施					【実施実績の結果により】派遣バスの運行	
既存体験プログラム(乗換体験・職業体験等)のブラッシュアップ						
コーディネート組織の検討						
情報発信、関係交流					世界ジョバーク再調査	
ジョバーク全国大会開催					-全国大会・関係会議でのPR・産戸産こどもサマースクール等イベントの開催	
商品開発						
ニーズ調査					商品開発 (アドバイザー活用)	
拠点施設整備						
基本構想・基本設計					実施設計	
					拠点施設の整備	
サイト整備						
深層水サイトアクアファームの展示充実					泉の谷・とらむサイト等の整備	
西長川町並みサイト 拠点施設整備					嶋山サイト・西山サイト等の派遣コース整備	
朝霞サイト多言語整備						

第2期計画					指定及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	岩崎弥太郎生家等の観光資源の磨き上げ					
	岩崎弥太郎生家エリアの整備					
	土居郷中エリアの整備					
	三菱グループとの連携による岩崎弥太郎の顕彰とPR					
	三菱グループとの連携による岩崎弥太郎のPR					
	安芸観光情報センターの機能強化					
	運営体制の強化					
	施設機能の見直し・整備					
	観光ビジョンの策定					
	安芸市の観光の将来ビジョンの策定					



第2期計画					指定及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
	岩崎弥太郎生家等の観光資源の磨き上げ					
	岩崎弥太郎生家エリア・土居郷中エリアの整備					
	三菱グループとの連携による岩崎弥太郎の顕彰とPR					
	三菱グループとの連携による岩崎弥太郎のPR					
	安芸観光情報センターの機能強化					
	運営体制の強化					
	施設機能の見直し・整備					

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
29 体験型観光と地域の加工品づくりの推進 ～大野台地は、えいところ！～ 《田野町》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;">修正前</div>	交流事業の推進による交流人口の拡大と併せて新たな加工品開発に取り組むことで、農畜産物の消費拡大や所得の向上、雇用機会の創出を図る。	・大野倶楽部 ・田野町	・体験活動による交流事業の受入れ、主催による実施 ・福田塾の体験合宿(H22～23) ・加工品の開発の検討、試作(H24～)、販売(H25) ◆H22年度に、初めて大野倶楽部主催による体験イベントを企画、実施するなどして体験メニューの試行に取り組んだ。H23年度以降、これまでの経験を活かして体験メニューの本格実施に取り組み、その結果、交流人口の拡大など一定の成果は見られる。また、東部地域で初めてとなる民泊にも積極的に取り組んでおり、教育旅行の受入れなど今後の展開に期待が持てる。 ◆H25年度には、加工品の販売と女性部主催事業の開催を行い、女性部の新たな取組を開始した。	・事務局体制の確立、受入れと実施体制の強化 ・地域住民への活動理念の浸透 ・他地域の資源と連携したメニューづくり ・活動を収入に繋げていく仕組みづくり ・地域資源を活かした農業体験メニューの実施 ・民泊による修学旅行の受入れ	◆体験型観光の推進 ◆加工品の開発・販売 ◆地域食材の提供の検討



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28 体験型観光と地域の加工品づくりの推進 ～大野台地は、えいところ！～ 《田野町》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;">修正後</div>	交流事業の推進による交流人口の拡大と併せて新たな加工品開発に取り組むことで、農畜産物の消費拡大や所得の向上、雇用機会の創出を図る。	・大野倶楽部 ・田野町	・体験活動による交流事業の受入れ、主催による実施 ・福田塾の体験合宿(H22～23) ・加工品の開発の検討、試作(H24～)、販売(H25) ◆H22年度に、初めて大野倶楽部主催による体験イベントを企画、実施するなどして体験メニューの試行に取り組んだ。H23年度以降、これまでの経験を活かして体験事業の実施に取り組み、その結果、交流人口の拡大など一定の成果は見られる。 ◆H25年度に加工品の販売と女性部主催事業の開催を行い、H26年度には農業体験と組み合わせた交流事業も実施している。 ◆東部地域で初めてとなる民泊にも積極的に取り組んでおり、教育旅行の受入れなど今後の展開に期待が持てる。	・事務局体制の確立、受入れと実施体制の強化 ・地域住民への活動理念の浸透 ・他地域の資源と連携したメニューづくり ・活動を収入に繋げていく仕組みづくり ・地域資源を活かした農業体験メニューの実施 ・民泊受入れ家庭の増	◆体験型観光の推進 ◆加工品の開発・販売 ◆地域食材の提供の検討

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
体験型観光の推進						
交流事業の内容の検討及び継続的な取組						
民泊受入れのための体制づくり						
加工品の開発・販売						
加工品の企画づくり						
加工品の試作・販売						
販路の確保または拡大						
地域食材の提供の検討						
提供施設の検討						
提供施設の整備						



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
体験型観光の推進						
交流事業の内容の検討及び継続的な取組						
民泊受入れのための体制づくり						
加工品の開発・販売						
加工品の企画づくり						
加工品の試作・販売						
販路の確保または拡大						
地域食材の提供の検討						
提供施設の検討						
提供施設の整備						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
32 安田中山地区の活性化プロジェクト (安田町)	地区住民主体で「中山元気プラン(仮称)」の策定を行い、地域資源である自然薯の生産拡大に取り組むとともに、地域の観光資源を活用して交流人口の拡大を図るなど、中山地区を元気にする取組を推進する。	・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部	・集落活動センター「なかやま」の開設(H24.4月) ・中山を元気にする会運営会開催(H24) ・高知大学・安田町連携事業協議会設置(H24) ・旧中山小学校(集落活動センター)の前置診断(H24) ・安田ふるさと応援隊(地域おこし協力隊員:1名採用)による運営支援の継続 ・集落調査員2名の採用(H25) ◆ふるさと応援隊員の活動を通して地域住民の参加意識が醸成された。	・集落活動センターの円滑な運営と外部人材の活用	◆「中山元気プラン(仮称)」の策定 ◆味工房じねん、せせらぎの郷小川、集落活動センターを核とした交流人口の拡大 ◆中山自然薯のブランド化 ◆新たな観光資源の発掘

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
32 安田中山地区の活性化プロジェクト (安田町)	地区住民が主体となり、安田ふるさと応援隊と協力して集落活動センターの運営を行い、地域資源である自然薯の生産拡大に取り組むとともに、地域の観光資源を活用して交流人口の拡大を図るなど、中山地区を元気にする取組を推進する。	・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部	・集落活動センター「なかやま」の開設(H25.4月) ・中山を元気にする会運営会開催(H24) ・中山を元気にする会運営会の月例化(H25～) ・高知大学・安田町連携事業協議会設置(H24) ・旧中山小学校(集落活動センター)の前置診断(H25) ・旧中山小学校(集落活動センター)の改修工事(H26) ・安田町ふるさと応援隊(地域おこし協力隊員:1名、集落支援員2名)による運営支援の継続 ・集落調査員2名の採用(H25) ・山宇試験場始の開始(H26) ・町シェアオフィス事業との連携開始(H26) ◆ふるさと応援隊員の活動を通して地域住民の参加意識が醸成された。	・集落活動センターの円滑な運営と外部人材の活用	◆中山地区活性化の方針策定 ◆味工房じねん、せせらぎの郷小川、集落活動センター等を核とした交流人口の拡大 ◆中山自然薯のブランド化 ◆新たな観光資源の発掘

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
「中山元氣プラン(仮称)」の策定 プランの検討と策定	味工房じねん、せせらぎの郷小川、集落活動センター等を核とした交流人口拡大 安田川アユおどる清流キャンプ場や旧中山小中学校跡など中山地区にある資源の磨き上げなど 味工房じねんやせせらぎの郷小川など中山地区の地域拠点を活用した交流人口拡大に向けた取組 集落活動センターの開設 集落活動センターを核とした旧中山小中学校の施設利用案の具体化と施設整備					
中山自然景のブランド化 市場調査、地域資源調査、ブランド化の検討等	生産農家拡大、生産組合の体制整備、販路開拓等 生産拡大と加工品の開発・販売					
新たな観光資源の発掘	森林セラピー等に関する調査研究 東部広域博覧会を契機にした展開 継続的な活用					



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
中山地区活性化の方針策定 集落活動センター推進事業費補助金の申請に併せたプランの検討	味工房じねん、せせらぎの郷小川、集落活動センター等を核とした交流人口の拡大 安田川アユおどる清流キャンプ場や旧中山小中学校跡など中山地区にある資源の磨き上げなど 味工房じねんやせせらぎの郷小川など中山地区の地域拠点を活用した交流人口拡大に向けた取組 集落活動センターの開設 集落活動センターを核とした旧中山小中学校の施設利用案の具体化と施設整備					
中山自然景のブランド化 市場調査、地域資源調査、ブランド化の検討等	生産農家拡大、生産組合の体制整備、販路開拓等 生産拡大と加工品の開発・販売					
新たな観光資源の発掘	新潟観光素材に関する調査研究 高知家まると東部博覧会を契機にした展開					

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
33 北川村温泉を核とした中山間振興 《北川村》	北川村温泉の建築に併せ、地域の集落活動の拠点を整備することにより、交流人口の拡大と地元農産物の直販などの集落活動を拡大することで中山間地域の振興を図る。	-北川村 -北川村中部地区集落活動協議会 -北川村観光協会			◆温泉施設の整備 ◆情報発信 ◆地域交流活動、集落活動の展開
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
33 北川村温泉を核とした中山間振興 《北川村》	北川村温泉の建築に併せ、地域の集落活動の拠点を整備することにより、交流人口の拡大と地元農産物の直販などの集落活動を拡大することで中山間地域の振興を図る。	-北川村 -北川村中部地区集落活動協議会 -北川村観光協会	-地元産品を販売する温泉直販市の設置(H25~) -休耕田の整地と花畑作り、イベントの開催(H26~) -温泉レストランでの地元産品の活用(H26~)	-集落活動への外部人材の導入	◆温泉施設の整備 ◆情報発信 ◆地域交流活動、集落活動の展開
修正後					

第2期計画					指標及び目標			
H24	H25	H26	H27	H28(予)	指標	目標値(H27)		
						来場者 H24 宿泊: 5,463人 入浴: 17,731人	H24年比10%増 宿泊: 6,000人 入浴: 19,500人	



第2期計画					指標及び目標			
H24	H25	H26	H27	H28(予)	指標	目標値(H27)		
						来場者 H24 宿泊: 5,463人 入浴: 17,731人	H24年比10%増 宿泊: 6,000人 入浴: 19,500人	

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
34 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト 《馬路村》	馬路村魚梁瀬地区の資源と人材を有機的に結合させ、交流人口の拡大と新ビジネスの創出を目標とした事業を展開する。	・馬路村 ・魚梁瀬地区住民団体(自治会)			<ul style="list-style-type: none"> ◆外部人材の導入と住民組織づくり ◆今までにない視点からの交流拠点の実現 ◆丸山公園等の観光素材としての磨き上げ

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
34 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト 《馬路村》	馬路村魚梁瀬地区の資源と人材を有機的に結合させ、交流人口の拡大と新ビジネスの創出を目標とした事業を展開する。	・馬路村 ・魚梁瀬地区住民団体(自治会)	・魚梁瀬ふるさと応援隊2名の採用	・住民組織の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ◆外部人材の導入と住民組織づくり ◆ふるさと応援隊と協働した交流拠点の整備 ◆丸山公園等の観光素材としての磨き上げ

修正後

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(127)
		外部人材の導入と住民組織づくり				
		高知ふるさと応援隊の募集検討	高知ふるさと応援隊の導入			
		地域住民、小学校、村役場と協同して地域活性化の組織作りとその運営				
		今までにない視点からの交流拠点の実現				
		土佐MBA等を活用した、新たな人材の発掘と育成	産業振興アドバイザー等を活用して交流拠点のプラン作成。高知ふるさと応援隊と協同しての活動を開始、施設整			
		丸山公園等の観光素材としての磨き上げ				
		観光素材としての現況調査	安芸広域博覧会を活用した新たな事業の展開と、その成果を基礎とした活動の実施			



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(127)
		外部人材の導入と住民組織づくり				
		高知ふるさと応援隊の募集検討	高知ふるさと応援隊の導入			
		地域住民、小学校、村役場と協同して地域活性化の組織作りとその運営				
		ふるさと応援隊と協働した交流拠点の整備				
		土佐MBA等を活用した、新たな人材の発掘と育成	産業振興アドバイザー等を活用した交流拠点のプランづくり・拠点整備			
		丸山公園等の観光素材としての磨き上げ				
		観光素材の磨き上げと新たな素材発掘				
		高知家まるごと東部陣を活用した新たな事業の展開				

